

東北復興ドキュメンタリー映画
「一陽来復」無料上映会のお知らせ

令和1年5月吉日
新宿区立四谷第六小学校
PTA会長 豊嶋 敏雄
四谷第六小学校PTA文化・広報委員会

一陽来復

いちようらいふく

Life Goes On

文部科学省 特別選定

- 会場 四谷第六小学校体育館
- 上映日 6月8日（土曜日）
- 上映時間 ①10時～ ②15時～ （約80分）
- 対象 四谷地域の小中学生、保護者、一般の方
- 鑑賞料 無料
- 主催 四谷第六小学校PTA 文化広報委員会

平成から令和へ

2011年に起きたあの震災から8年、東北の人たちは明日に向かって生きている。

どんなに苦しくても、傷ついても、歩き出す、そんな姿をぜひ四谷地域の方々にも見ていただきたい。

本年度の文化教養講座としまして、東北の復興ドキュメンタリー映画を上映いたします。是非この機会にご鑑賞ください。



© Kokoro Film Partners

ナレーション：藤原紀香・山寺宏一
監督：伊美亜（ユン・ミア）
撮影監督・共同監督：辻健司
プロデューサー：益田祐美子

公式サイト：<http://lifegoeson-movie.com/>

◆上映当日のお願い◆

- *土足厳禁ですので、上履き等をご持参ください。また、外履きを入れる袋もご持参ください。
- *自転車置場はありませんので、自転車での来校はご遠慮ください。
- *水筒・ペットボトルの水などは持ち込み可です。食べ物は持ち込み不可です。

ここには言葉では語り尽くせないものがある。

一陽来復(いちようらいふく)…冬が去り春が来ること。悪いことが続いたあと、ようやく物事がよい方向に向かうこと。(参照:デジタル大辞泉)



なんという言葉の宝庫。
震災の記録は、
被害の大きさばかりが語られがちだが、
それを越えた人間の大きさを
ここまで表した作品があったらどうか。
(60代男性・埼玉県)

感動した、
という表現では語ることができない。
映画で涙が溢れるという初めての経験をした。
東北の方々の強さと温かさを
スクリーンから感じた。
(50代男性・東京都)

みんな傷ついた。
みんな苦しかった。
みんなどん底だった。
そんな感情からの今日を生きる皆様を
感じて、涙が止まらなかった。
(30代女性・千葉県)

一陽来復の春、すべての人に知ってもらいたい鎮魂と再生の物語

季節は移り、景色も変わる。人々の暮らしも変わった。
6年間の日常の積み重ねから発せられる言葉と、明日に向けられたそれぞれの笑顔。

2011年3月11日の東日本大震災から6年あまり。震災によって甚大な被害を受けた宮城県石巻市・南三陸町、岩手県釜石市、福島県川内村・浪江町の各地では、多くの人が喪失感や葛藤を抱えながら、新しい一歩を踏み出している。—3人の子供を失った場所に、仲間のための集会スペースを作った夫婦。津波の後にもたらされた海の恵みに気づき、以前とは異なる養殖を始めた

カキ漁師。震災を風化させないために語り部となったホテルマン。写真の中で生き続けるパパと、そろばんが大好きな5歳の少女。全村避難の村で田んぼを耕し続けた農家。電力会社との対話をあきらめない商工会会長。被曝した牛の世話を続ける牛飼い。カメラは「復興」という一言では括ることのできない、一人ひとりの確かな歩みを自然豊かな風景とともに映し出す。



東北の各地で生まれている小さな希望と幸せ

本作品は、岩手・宮城・福島の被災3県で生きる市井の人々の姿を通じて東北、引いては日本の現在を包括的に捉えた初のドキュメンタリー。多岐にわたる登場人物やストーリーの根底には、生命への賛歌が流れている。
監督は、NHKドキュメンタリー番組制作や「サンマとカタル女川つながる人々」などのプロデューサーを経て、本作が初監督

となるユンミア。「東日本大震災の衝撃と悲しみは世界中の人々に伝播したが、その後生まれたたくさんの小さな希望や幸せを伝えたい」という一心で東北の各地に通い、取材を続けた。また、東北に縁が深く、継続的な復興支援活動で知られる藤原紀香と山寺宏一がナレーションを務める。

●主な出演者
(石巻市) 遠藤伸一 遠藤綾子 Jean Anderson Andy Anderson
(川内村) 秋元美譽 秋元ソノ子 井出茂
(南三陸町) 奥田江利香 伊藤俊 佐藤知子 後藤一磨 後藤清広
(釜石市) 前川智克 二本松富太郎 鈴木堅一 柏崎久雄
(浪江町) 吉沢正巳

●オープニング曲
「釜石 あの日あの時甚句」東中学校・鶴住居小学校 編
(釜石あの日あの時甚句つたえ隊 北村弘子 藤原マチ子)

よくぞや 超えました 津波を 超えた
嬉しや 涙の 釜石甚句
あの日あの時 甚句に読めばよ
時は3月11日の 忘れもしない 大震災
千年一度の 大地震 誰が思うか あの津波

●エンディング曲
「春よ、来い」(作曲:松任谷由実)
一陽来復 Instrumental Version
編曲:井内竜次

協力:東京都倫理法人会 全日本冠婚葬祭互助協会 日本カタルパートナーズ
特別支援:山下祐作

lifegoeson-movie.com

文部科学省 特別選定

(青年向け・成人向け 2017年7月13日選定)